

からふるパレット タイムズ

第8号

平成27年2月11日
発行

2月10日

「パソコンノートテイク講習会～聴覚障がいの理解とノートテイクの必要性～」が開催され、講師として特定非営利活動法人要約筆記高知・やまももさんにお越しいただきました。



話し言葉をできる限り短い言葉で、正確な意味のまま文字にしていきます。入力した文字がスクリーンに流れる、専用のソフトを使います。聞いて要約しながらタイピング、難しかったです…

ノートテイクって？

聴覚障がいのある方は音声情報を文字情報に変換して提供する情報補償を必要としています。話されている内容を要約し、聴覚障がい者へ文字として伝えることを要約筆記といいます。その方法の一つにパソコンを使って情報を伝えるパソコンノートテイクがあります。パソコンの画面を通して授業の内容を文字通訳します。聴覚障がい者に付き添い、耳の代わりになって授業の内容を伝えます。通常は二人一組で行い、素早さと正確さが求められます。



要約筆記クイズ

「学校から帰っている途中」
なんと伝えるのが最適でしょうか？

特別修学支援室ではこういったノートテイクをしてくださる学生を募集しています。ご希望の方は特別修学支援室までご連絡ください。

クイズの答え：下校中